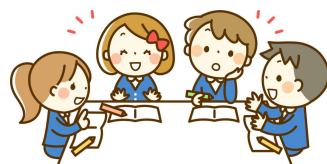


「自発的・自治的な活動ができる児童生徒の育成」

～児童生徒が目的意識をもって取り組む学級活動（１）の工夫を通して～

自発的・自治的な活動ができる児童生徒



手立て①◆目的意識をもたせる工夫
手立て②◆話し合いをまとめるための工夫

邑楽町の児童生徒の実態および前年度の課題

- ・話し合いがまとまらない
- ・話し合いの進捗がスムーズにできない
- ・自分の意見に固執しすぎてしまう
- ・目的意識をもって話し合いに臨めない

教師の願い

- ・小、中学校９年間で段階的に話し合いのスキルを向上させたい
- ・自発的・自治的かつ適切に集団に関わる態度を育てたい

学習指導要領における目標

（１）「多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。」より、話し合いの進め方やよりよい合意形成、意思決定の方法などを身に付けることが求められる

成果

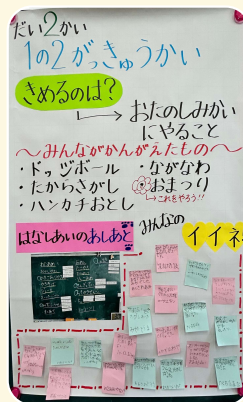
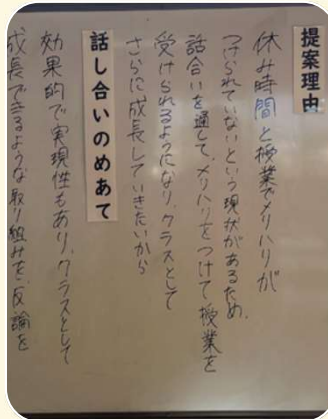
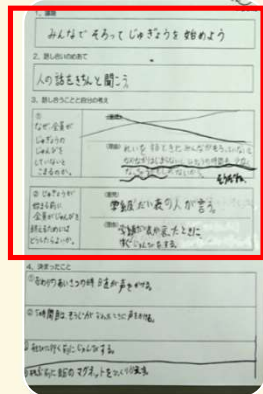
- 事前にアンケートを取るなどし、提案理由や話し合いの目的を明確化し、さらに提示しておくことで、目的意識をもって話し合いに取り組むことができた。
- 振り返りと事後指導を充実させることで、クラス（個人）がよかったことを実感し、次の学級会にも目的意識や必要感をもって取り組む様子が見られた。
- 話し合いで何かを決める際、「みんなで毎日取り組める」など条件や観点を与えることで、実現性のある方法や効果の出そうな方法を考えようとする姿が見られた。



課題

- 昨年度からの取組である３～４人の小グループでの話し合いを取り入れた際、全体で考えさせたい内容が少人数での話し合いの段階で消化されてしまい、全体での話し合いが淡泊な内容になってしまう場面があった。
- 「比べ合う」から「まとめる」の場面において、班ごとの意見交流の段階で、すでに意見が固定されてしまうことがあったので、多様な考えを大切にするための折り合いの付け方のさらなる工夫が必要である。
- 事前の活動において、学級会を充実させようとするほど計画委員が休み時間等を準備に費やすことになってしまったので、時間の確保の仕方を工夫する必要がある。

手立て① ◆目的意識をもたせる工夫



【事前】

○必要感のある議題の設定と提案理由の明確化

・議題ボックスを設置し、児童生徒が日頃思っていることや課題と感じていることを投函し、その中から議題を選定させる。

○事前の告知やアンケート

・自分の考えをもって学級会に臨めるよう、議題に対する自分の考えを学級会ノートやプリントへ事前記入させる。
・GoogleClassroomやロイロノートで共有しておき、他の意見を参考にできるようにする。

【本時の活動】

○提案理由と話し合いの目的の明確化

・提案者や計画委員に提案理由を発表させ、話し合いの目的を明確にする。板書にも残しておく。
・話し合いの間に内容がそれたときには、提案理由に立ち返り、目的を再確認させる。
・話し合いを終えて、なりたい姿を想像させる。

○ロイロノートの活用

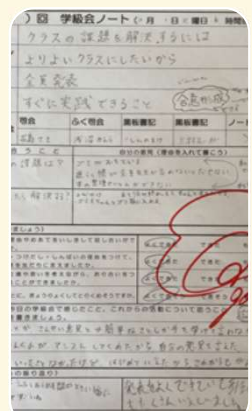
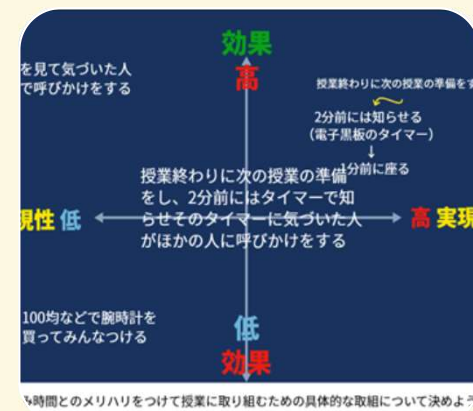
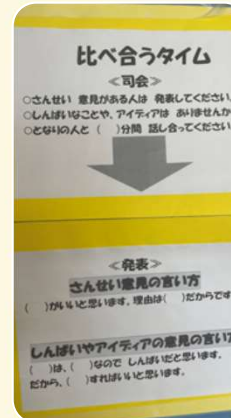
・アンケート結果を提示したり、提案理由をまとめた付箋を分かりやすく掲示したりする。

【事後活動】

○振り返りの充実

・学級会で決まったことを用紙や模造紙にまとめて掲示する。学級会の感想を付箋紙に記入させ、掲示し、学級会の前後で変化したことや改善したことがあれば別色の付箋紙に記入し、掲示していく。
・学級会で話し合ったことでクラスがよりよくなったたり、課題が解決したりしたということを適宜子どもたちに話していくことで、学級会に対する意欲を向上させる。
・児童の言葉で書いた掲示物を作成し、決まったことを視覚化する。

手立て② ◆話し合いをまとめるための工夫



【事前】

○掲示物の充実

・話し合いや発表で使える型を示しておく。
・話し合いの約束を示しておく。

○計画委員との打ち合せ

・計画委員と、話し合いで出てくる意見を想定して打ち合せをし、進め方の見通しをもたせておく。

【本時の活動】

○折り合いをつけるための支援

・小グループやペアなどの話し合いの形態を工夫する。
・話し合いの目的を理解させた上で、そのために必要な条件や合意形成する際の視点を確認させる。
・ロイロノートやマグネット等を使用して、意見を色ごとに分類したり、短冊を移動したりしてクラス全体の傾向をつかみ、視覚的に捉えられるようにすることで、意見を絞れるようにする。

○思考ツールの活用

・よりよい意見をつくりあげるために、2軸の思考ツールを用い、自分たちの考えはどこに位置するのか考えながらまとめさせる。

【事後活動】

○振り返りの充実

・学級会での良い発言や進め方を取り上げ、クラスに紹介する。

学級活動(1)における課題解決のための基盤 計画委員の設置、お互いの意見を認め合える温かい学級風土作り